

認知症を学び、 地域でともに暮らすために

令和元年度 秋葉区認知症講演会

みなさんの認知症のイメージはどんなものですか？「同じことを何回も聞く」「徘徊」など、マイナスのものが多いでしょうか？このたびの講演会では、認知症の方から直接お話を伺い、今後増えるであろう認知症の方とともに地域で暮らすためにどうしたらよいかと一緒に考えていきましょう。



【日時】令和元年 8月 10日(土) 13:30～15:30 (開場 13:00)

講 演 「認知症とともに生きるということ」

おれんじドア 代表 丹野 智文 氏

リレートーク 「認知症とともに地域で暮らすとは」

下越病院 認知症サポート医 川上 明男 氏
Café あきつ葉 石本 祐子 氏
秋葉区在住認知症当事者 中澤 将 氏

会 場
秋葉区文化会館 大ホール

(秋葉区新栄町 4-23)

参加費 無料
定 員 450名
手話通訳・要約筆記あり



【主催】秋葉区健康福祉課・
秋葉区キャラバンメイト連絡会
【共催】秋葉区社会福祉協議会
【後援】新津商工会議所・小須戸商工会・
秋葉区民生委員児童委員連絡協議会・
秋葉区ボランティア連絡協議会

参加お申込み

<申込期間>

7月9日(火)～7月31日(水)

<申込方法>

新潟市役所コールセンター

025-243-4894

にお申し込みください。



受付時間 朝8時～夜9時 (年中無休)

◆お問い合わせ◆
秋葉区役所健康福祉課高齢介護担当
TEL: 0250-25-5679

～講師プロフィール～

丹野 智文 氏

宮城県仙台市在住 45歳 自動車販売会社勤務
39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断され、勤務先で営業職から事務部門に異動し、仕事を続けている。
休日を利用し、全国で認知症に対する正しい理解をして
もらうための講演活動を行っている。

- ・おれんじドア実行委員会 代表
- ・日本認知症本人ワーキンググループメンバー
- ・認知症の人と家族の会宮城県支部会員

「おれんじドア」とは

認知症の診断をされた方や物忘れて不安を感じ
ている方のための「もの忘れ総合相談窓口」。
認知症当事者の方が開催している。

川上 明男 氏

下越病院 神経内科勤務
認知症サポート医
昭和49年 岐阜大学医学部を卒業。昭和58年、新潟に戻り新潟大学病院神経内科で3年間研修され、昭和61年から下越病院に勤務。秋葉区内の脳卒中、パーキンソン病など難病の治療から最近10年程は認知症の方も診療している。認知症は原因が不明で治療も部分的なため、患者と家族が認知症に凝りまわされることが多く、人生にも影響を与えていていることを、医療の立場から感じている。「認知症の方やその家族が、多くの方と支え合い病気に向き合い進んでいくこと」が重要と考え、診療にあたっている。

石本 祐子 氏

独立型居宅介護支援事業所
ケアプランあおば 管理者
主任介護支援専門員
日ごろ、ケアマネージャーとして地域の高齢者の支援をするかたわら、認知症センター養成講座を開催する「キャラバンメイト」としても活動し、平成30年に発足した秋葉区キャラバンメイト連絡会の発足にも携わった。また認知症の方やその家族が安心して話をしたりほっと一息つける場所として、認知症カフェ「Café あきっ葉」の運営にも携わっている。ちなみに「Café あきっ葉」は、平成31年3月のプレオープンののち、現在はおむね第3土曜日午前中に開催している。

中澤 将 氏

新潟市秋葉区在住
旧新津市生まれ。学校卒業後、海上保安庁警備隊、海上自衛隊で京都、神奈川等に赴任後、地元に戻り農業に従事される。昭和53年には社団法人中央畜産会と新潟県知事から畜産経営で表彰された。畜産以外にも、良質な米の生産・出荷や農業経営での表彰もされている。一方で、地域福祉の面でも貢献され、地元の社会福祉法人理事長や保護司も務められ、平成19年春、瑞宝双光章を受章された。平成25年頃受診した医療機関で認知症の診断を受けたが、今も農業に携わりボーリングやダンスを通して体力をつけながら自身のペースで生活されている。

～会場へのアクセス～



秋葉区文化会館（秋葉区新栄町4-23）

電車をご利用の方

JR新潟駅西口より南へ徒歩約15分

車をご利用の方

新潟方面から国道403号線で古田交差点を左折、山谷交差点を右折、区役所前交差点を左折
新津ICより車で約15分、新潟西スマートICより車で約15分

駐車場

収容台数233台（普通車226台・車椅子対応車5台・大型乗用車2台）無料